

茨城県土浦市における「つちうら MaaS 実証実験」に参画 ～「AI 運行バス」を活用し、公共交通空白地域での移動を支援～

株式会社 NTTドコモ(以下、ドコモ)は、つちうら MaaS 推進協議会が 2021 年 3 月 3 日(水)～11 日(木)に茨城県土浦市新治地区にて実施する「つちうら MaaS 実証実験」に参画し、AI を活用したコミュニティバスの実証実験(以下、本実証実験)を行います。本実証実験では、ドコモのオンデマンド乗合交通「AI 運行バス^{®※1}」のシステムを活用することで効率的な配車サービスを実現し、公共交通の空白地域における交通手段の確保に向けて、より利便性の高い交通インフラの提供をめざします。

土浦市新治地区は、公共交通空白地域となっており、市街地へのアクセス手段の確保や、高齢者や学生など自動車を運転できない市民の交通手段の確保が課題となっていることから、本実証実験では近隣を走行する路線バスのバス停、商業施設などを結ぶ AI コミュニティバスを運行します。



AI コミュニティバス イメージ

本実証実験の AI コミュニティバスは、利用者が WEB サイト^{※2} や電話で乗降場所と人数を予約することで、運行中の AI コミュニティバスがリアルタイムに配車される仕組みとなっており、予約内容に応じて車両と運行経路をリアルタイムに AI が決定し、WEB サイト上に乗車予定時刻が表示されます。運行範囲は土浦市新治地区で、乗降場所は、公共施設、商業施設、近隣の路線バスのバス停など 29 か所です。ワンボックス型車両 2 台を運行し、乗車料金は無料となります。

また、NEC ソリューションイノベータ株式会社が提供する顔認証システムを活用し、乗車時の本人確認を顔認証で行います。

本実証実験は、国土交通省「令和 2 年度日本版 MaaS 推進・支援事業」である「つちうら MaaS 実証実験」の一環として実施します。茨城県内で、ドコモのオンデマンド乗合交通「AI 運行バス」のシステムを活用する事例は、本実証実験が 3 例目であり、県内のさまざまな地域における活用が進んでいます。

ドコモは、土浦市での日常生活における移動課題の解決と街の活性化をめざすとともに、AI 運行バスを活用することにより、公共交通空白地域における移動を支援する取組みを進めてまいります。

※1 「AI 運行バス」は、ドコモが提供する「高度な AI による配車制御で、乗りたいときに、乗りたい場所で、誰でも簡単に乗車予約ができる(オンデマンド)サービス」です。株式会社未来シェアが開発した SAVS(Smart Access Vehicle Service)を利用しています。

※2 サービスのご利用には、会員登録(無料)が必要です。

* 「AI 運行バス」は株式会社 NTTドコモの登録商標です。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社ドコモ CS 茨城支店
法人営業部 第一法人営業担当
TEL:029-222-5039

実証実験概要

1. 運行期間

- (1) 運行期間：2021年3月3日(水)～11日(木)
 (2) 運行時間：午前10時～午後4時 ※予約可能時間は午前10時～午後3時30分

2. 運行エリア

- (1) 運行エリア：茨城県土浦市新治地区
 (2) 乗降場所：運行エリア内29か所

3. ご利用料金(運賃)

無料

4. ご利用方法

Web サイトとコールセンターより予約とキャンセルが可能です。

- (1) Web サイト：<https://passenger-app.ai-bus.jp/private/tsuchiura1037/index.html>

〈Web サイト イメージ図〉



- (2) コールセンター：029-822-2509(関鉄土浦タクシー)

5. 車両

ワンボックス型車両 2台

6. その他

運行日時、乗降場所などの詳細は、下記 WEB サイトをご覧ください。

<http://www.kantetsu.co.jp/maas/>